



トピックスいわて

社会正義の守り手目指し 県警察学校で入校式



県警察学校の初任科入校式が四月五日、盛岡市青山一丁目の同校体育館で行われた。四十二人の入校生を代表して今村直子さんが「不偏不党、公正中立に警察職務の遂行にあたる」と宣誓。三浦健嗣校長は「自主自立の精神で職務を学び、体力気力の鍛錬に励んでほしい」と式辞を述べ、篠宮隆県警本部長は「治安維持に一生を託し、人間性豊かな警察官になってほしい」と励ました。

広い視野で自己研さん誓い 県立大学で入学式



県立大学の入学式が四月六日午前十時半から滝沢村菓子の同大講堂で行われた。開学二年目の新入学生は看護、社会福祉、ソフトウェア情報、総合政策の四学部合わせて四百七十四人。西澤潤一学長は「自分の長所を磨き、天分を探し求めてほしい」と訓示。これに対して小谷地泉さん（社会福祉学部）が「世界的な視野で教養を身に付けたい」と宣誓した。

増田県政二期目スタート



四月十一日行われた知事選挙において、増田知事が再選を果たした。十二日に行われた記者会見の中では、二期目の県政運営について、「過去の知事選で最多票を獲得した。県民の期待が両肩に重くのしかかるが、責任を果たしたい」と抱負を述べた。八月頃には「環境」「ひと」「情報」を大きな柱とした、新しい県の総合計画を策定し、二十一世紀という新たな時代の「夢県土」づくりの一步を踏み出す。

「語る会」でこれからの 保健医療や福祉を県に提言



県の新保健医療計画と新社会福祉計画の策定にあたり、地域の住民や医師、福祉関係者が提言する「明日の保健医療・福祉を語る会」が四月十四日、久慈市八日町の久慈地区合同庁舎で開かれた。遠隔地医療など地域医療システムの充実、ホームヘルパーの増員や高齢者の社会参加など少子高齢化社会への対応、来年度導入される介護保険制度などについて、参加した十四人が意見を述べた。

県政への提言を期待し 銀河系いわてモニターに委嘱状



県は四月十九日、県庁講堂で「銀河系 いわてモニター」委嘱状交付式を行った。委嘱されたモニターは百二十人。「県民の意見を広く聴くことは行政の基本。県政を適正でより良い方向に進めていくために積極的に提言をいただきたい」と増田知事が一人ひとりに委嘱状を手渡した。モニターは来年三月末までの一年間、県のアンケート調査に協力したり、文書などで随時提言する。

緑の募金で環境緑化をと 盛岡の街頭でPR活動



県と盛岡市、県緑化推進委員会は四月二十三日、盛岡市大通一丁目の県産業会館前で「緑の募金」の街頭活動を行った。関係者やボランティアら約四十人が道行く市民に協力を呼びかけ、募金協力者に緑の羽根を配布したほか、用意した苗木やグラジオラスの球根、風船などをプレゼントした。集まったお金は植樹祭などのイベントや緑の少年団育成、緑化木の配布などに使われる。